

令和6年度岩出市立山崎北小学校スクールプラン



岩出市学校教育指導方針

未来に輝く子供を育てるために
将来に向けた「生きる力」をもった子供
・確かな学力 ・豊かな心 ・健やかな体
持続可能な社会の創り手へ
日本社会に根ざしたウエルビーングの向上

【学校教育目標】

校訓：強く 明るく 正しい子
自ら考え、自ら学び、自ら行動できる子供の育成

前年度の学校評価

○開かれた学校づくりに努めている
○学校行事は、子供達にとって充実したものになっている
○学校は、子供をよく理解し、相談等に適切に反応している
○防災及び学校安全、いじめや不登校などに課題がある
○児童の、基礎・基本の習得、思考力、判断力、表現力を育むことに課題がある

保護者・地域の願い

○環境を整えた中で、学習をさせてほしい
○学力を向上させてほしい
○楽しいと思える学校にしてほしい
○学校全体で、教員の質を向上させてほしい
○登下校を含め、安全に過ごしてほしい
○地域に愛着を持てるようになってほしい
○地域への情報発信を積極的にしてほしい

【めざす児童像】

・夢と希望を持ち、自ら考え、進んで学習に取り組む子供
・自分も友達も大切にし、それぞれの良さを認め、豊かな心を持つ子供
・心身ともに健康でたくましい子供

児童の実態

○一部の児童は、あいさつを進んでできる
○明るく活発に遊ぶことができる
○家庭環境や、コロナ禍の後遺症から、人とのコミュニケーションや学校生活等にしんどさを抱える子供が多くいる
○学校のルールを守ることができにくい

重点目標

確かな学力の向上

◎基礎基本の確実な定着
◎研究主題「自分の考えを持ち、伝え合う力を高める算数を目指して」(2年目)
◎読書活動の推進
◎家庭学習の定着・充実

豊かな心の育成

◎人権教育・道徳教育の充実
◎自分のことを大切に、また、友達の良さを認めたり、褒めたりし合える仲間作り→「やさしさの連鎖」
◎いじめを生まない雰囲気づくり、未然防止、早期発見、早期対応
◎学校のルールやマナーの遵守

健やかな体の育成

◎健康で安全な生活習慣の定着
◎食育指導の充実
◎生活全般において、児童自ら危機を予測し回避できる力を育む
◎体力・運動能力の向上

地域に関わった学校

◎保護者、地域との連携を密にした学校づくり
◎地域の人材や資源を有効活用した教育活動の充実(ふるさと教育の推進)
◎保幼・中の連携の推進

具体的な取組

◎「和歌山の授業づくり 基礎・基本3か条」を活用し授業スタイルの統一。
◎学力向上3部会(研究部会、授業部会、スタンダード部会)それぞれの取組による授業改善、授業力の向上。
○朝学、補充学習の工夫と充実
○家庭学習を推進(家庭学習の手引きの活用)と充実。
○図書館司書やボランティアの活用及び充実。
○学習環境及び掲示物の工夫と整備。

◎教職員における人権教育の理解を深め、実践につながる研修を行う。
◎学級活動や児童会活動、縦割り活動など、子どもたちが主体的に活躍できる機会を設け、お互いを認め尊重し合える居心地のよい学級・学校づくりに努める。
○年3回(学期毎に1回)いじめアンケートを実施する。
○「特別の教科 道徳」の充実
◎SC、SSWを活用した、関係機関等(岩出市総合福祉センター、医療機関、支援学校、養学校、盲学校他)と連携し、児童の理解及び指導・支援に活かす。
○「学校のきまり」「学習規律」「世の中のきまり」等の周知に努める。

◎「早寝・早起き・朝ごはん」を推奨し、家庭との連携を図る。
◎病気や事故、災害等から自分を守るための食育や保健教育、安全教育を充実させる。
○情報モラルについて児童に指導し、保護者への啓発を行う。
○感染症等の予防の徹底。
◎体育専科教諭を活用し、体育の技術や知識向上に取り組む。また、全国スポーツテストの結果に基づき、体力作りや授業改善を図る。

◎保護者、地域へ校報やホームページ等で、積極的に学校の様子を発信する。
○授業や行事等を公開する。
○保護者、地域の登下校の見守り活動を実施する。
◎コミュニティスクールの充実を図る。
○地域人材を活用した学習活動を実施する。
○保幼・中学校との交流をする。

指標

・無回答を0に近づける
・「友達に自分の考え・意見を伝えることができる」 児童評価 85%以上
・「友達と話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」 児童評価 85%以上
・「『学び合い』が学級で実施できている」 教員評価 100%
・「授業力向上に取り組んだ」 教員評価 100%

・「学校に行くのが楽しい」 児童評価 90%以上
・「自分には良いところがある」 児童評価 90%以上
・「友達の良いところを見つけることができた」 児童評価 90%
・「子どもは、学校へ行くことを楽しみにしている」 児童評価 90%以上
・いじめ解消 100% ・不登校を0に近づける
・困り感を持った児童、保護者を関係機関等につなぐ 100%

・食育授業を各学年1回以上実施する。
・「朝ご飯を食べた」 児童評価 100%
・発達段階に応じた情報モラルについての学習を各学年1回以上実施する。
・全国スポーツテスト A層+B層児童60%以上

・「学校の様子がよく伝わった」保護者評価90%以上
・「子どもの様子を積極的に伝えた」 教員評価 95%以上
・「保護者との連携を密にする」 教員評価 100%
・「地域人材を活用する」 教員評価 95%

◎…特に重点的取組